

令和8年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会会議録

- ・開催日時 令和8年5月22日（金） 午後2時から午後3時15分
- ・開催場所 奥富環境センター リサイクルプラザ4階 会議室
- ・出席委員 田口知孝委員、小川委員、背尾委員、小暮委員、田口進司委員、松浦委員、高橋委員、立川委員、鈴木委員、滝沢委員、田中委員、吉浦委員
- ・欠席委員 3名
- ・事務局 久保田環境経済部長、北田環境経済部次長、當麻資源循環推進課長、山崎奥富環境センター所長兼稲荷山環境センター所長兼浄化センター所長、青柳奥富環境センター副所長、久保田稲荷山環境センター副所長、奥富環境センター 岡主幹
資源循環推進課 奥富主査、田中シニア主査、双木主事
- ・傍聴者 な し
- ・議題 ○諮問案件
議題1 一般廃棄物処理手数料等の改定について
- ・議事録
議題1 「一般廃棄物処理手数料等の改定」について、事務局から説明をした。

〔質疑応答〕

委員 平成27年度から令和6年度までの事業系ごみの処理経費および処理量の平均で原価を試算したとのことだが、推移を教えてください。

事務局 減少傾向が続いていたが、コロナ禍によりそういった傾向が崩れ、上昇に転じるイレギュラーな年もあった。そういった観点からも平準化をとるために10年間というスパンを採用した。

委 員 令和7年度以降も経費の上昇が続くと思うが、今回の改定は何年先を見据えたものなのか、また、今後の見通しは。

事 務 局 今回の改定は平成27年度から令和6年度までの処理費を基に算出したものであり、将来を見据えた価格ではなく、あくまでも現時点に対応した改定である。しかしながら、今後も人件費や物価の上昇というのは見込まれていることから、2024年に改定された基本方針に従い、5年に1回、必要に応じて見直しを図っていく。

委 員 前回の審議会では、どのような意見があったのか。

事 務 局 前回の主な意見としては、「人件費については年々上がっており、今後も上昇していくと思われるが、現状の人件費のみで原価計算としているのか」との意見があり、現状の人件費で算出しているが、今後、社会情勢の変化等を加味し、5年に一度、見直しを検討すると回答した。
また、「市民への周知はどのように考えているか」との意見には6ヶ月間の周知期間をもって、広報やごみ分別アプリ等を用いて発信していく予定であると回答した。

議 長 答申にあたっては、前回の主な意見にあった手数料等の定期的かつ適正
(会 長) な見直しを行っていただくこと。また、実施前には市民や事業者への丁寧な周知を行っていただくこと。そして、本日の説明にもあった、事前納付制度の導入など、料金徴収業務における効率化を推進し、利便性向上に努めていただきたいということ。加えて、受益者負担の適正化を求める一方で、市においても、業務委託の最適化や効率的な組織運営等を通じ、ごみ処理経費の一層の削減をすすめていただきたい、ということを当会の意見として答申に盛り込みたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委 員 一同 異議なし。

〔質疑終了〕

答 申 次の案件について、会長から市長（事務局）に答申をした。
・「一般廃棄物処理手数料等の改定」について

《審議会終了》